

《担当者名》 高橋祐輔、田中真樹、坊垣暁之

【概要】

現在、臨床検査および研究分野では、抗原抗体反応を利用した免疫学的手法を応用した測定法が開発ならびに使用されている。本実習では、古典的な免疫学的検査の基本、ならびに臨床検査で実際に行われている免疫学的検査法の原理や手技を習得することを目的とする。実習内容として、免疫沈降法、免疫電気泳動法、蛍光抗体法、およびELISA法などの手法を用いて、抗原特異的抗体価、血清蛋白、血清補体価の定量や、各種ウイルスや梅毒感染における臨床検査マーカーなどの測定などを行う。免疫検査学IおよびIIで習得した知識をもとに、実習を行う。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- (DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- (DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。